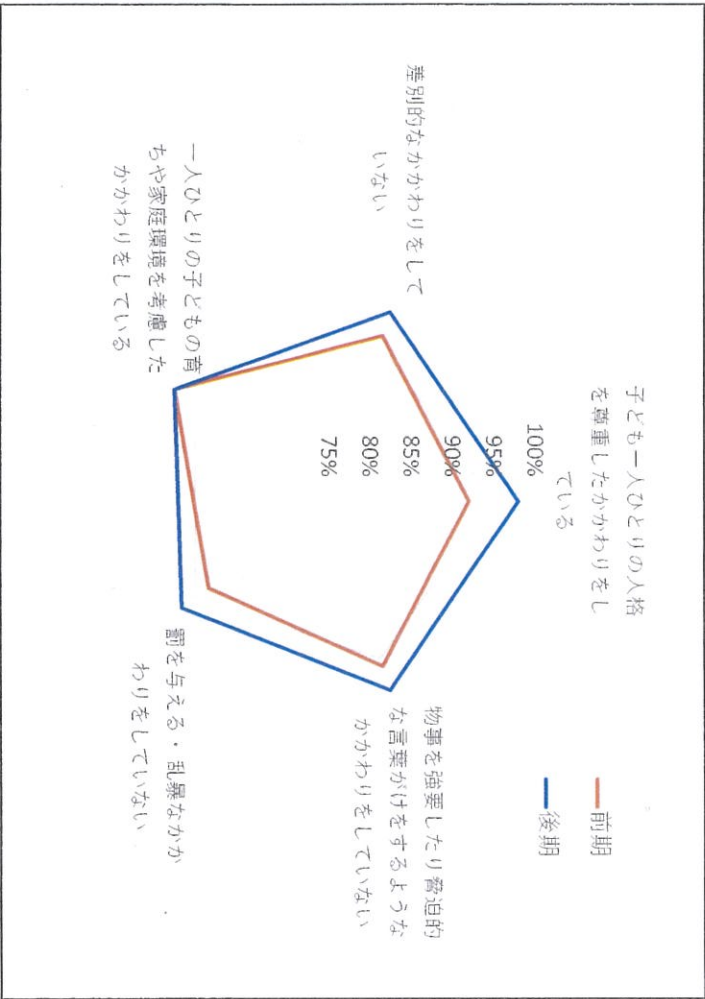


職員自己評価

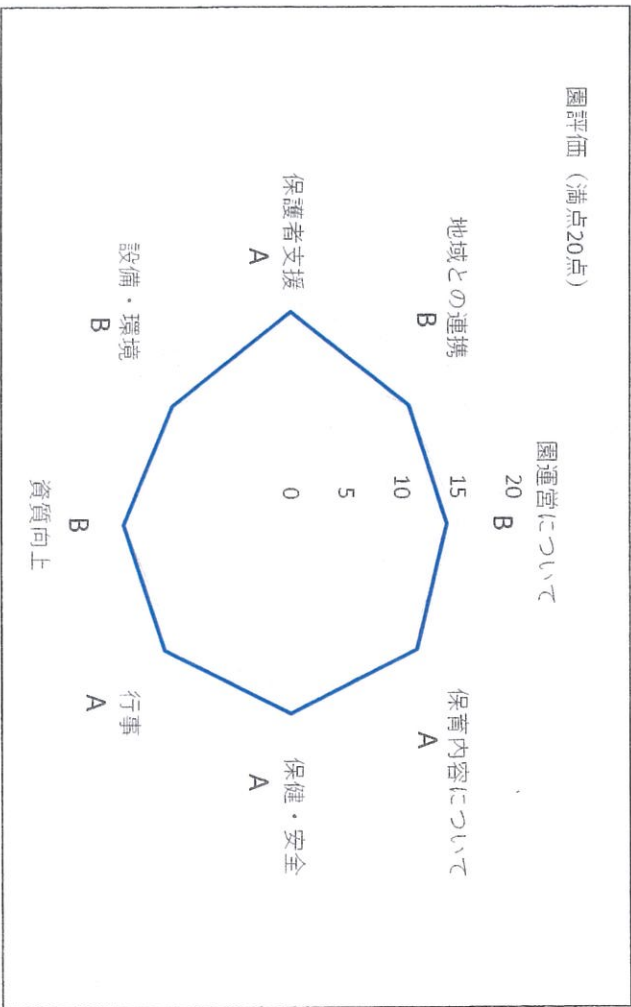


	設問	前期	後期
子ども一人ひとりの人格を尊重したかわりをして	10	92%	98%
物事を強要したり脅迫的な言葉がけをするようなかわりをしていない	5	96%	99%
罰を与える・乱暴なかわりをしていない	5	93%	97%
一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮したかわりをしている	4	98%	98%
差別的なかわりをしていない	5	96%	99%

総評

毎年、前期（9月）と後期（3月）の二回、職員の自己評価を行い集計後、共有している。
前期は評価に課題がある職員も自分の保育を振り返り、しっかり修正できている。自己評価は指標になるのでいつでも子ども主体を意識して目の前のことに向き合っていてほしい。

園評価



項目	園評価（満点20点）
園運営について	14
保育内容について	16
保健・安全	17
行事	16
資質向上	15
設備・環境	15
保護者支援	19
地域との連携	15

- 【集計表】
- A（16点～20点）：たいへん良い
B（13点～15点）：良い
C（10点～12点）：一部検討を要する
D（5点～9点）：改善を要する

総評

園運営・・・園の理念や方針（育てたい子ども像）を絶えず確認、共有しているが、職員間で温度差を感じるので引き続き方向性を一つにできるよう努力したい。
園の情報開示の方法をホームページを作成、公表できたことは良かった。
保育内容・・・毎月の指導計画が次月に活かされているか？細かいチェックがあまりできなかった。支援が必要な子や家庭の理解、専門に繋ぐプロセスが整ってきた。保育園と小学校の架け橋プログラムにより連携がスムーズになってきた。
保健・安全・・・コドモンのツールを通して保護者に感染症についての情報提供がこまめにでき、感染症を広げない方法として役立っている。昨今は自然災害が多く、防災に関する知識や訓練、連携を地域と共にやっていることはとても心強い。
資質向上・・・研修内容によってまた予算の範囲内で参加をしているが、自主的参加にも積極的になってほしい。
設備・環境・・・保育の環境を整えることは大切である。担当性も良いが、誰でも子どもの為にまた、働きやすい職場環境となるため安全、安心できる環境を整えたい。
地域との連携・・・地域と共に相互協力、連携した子育て拠点施設となる努力を積み上げていく。